

## 第23回（合同講座）

1. 日 時：令和6年2月7日（水）9：00～10：30
2. 場 所：へきしんギャラクシープラザ大会議室
3. テーマ：「慈悲のこころ」
4. 講 師：松原 紗蓮先生（浄明寺副住職）
5. 出席者：18／19名（1年）、28／29名（2年）
6. 内 容



○講師の生い立ち、若き日の人生に対する後ろ向きの考えや行動の中から多くの人に救われたという思いが、今の住職の仕事につながっている。21歳で仏門に入り、心の在り方や持ち方を学び、感謝の絶えない暮らしを送っている。

○「正義」とは、「献身と愛」（アンパンマンの言葉「ダサくても、カッコ悪くても人を助けるのがヒーロー」）ではないか。

○「発掘・還元の原理」の大切さ、捧げた愛は必ず自分に戻ってくる。人が放った言葉は、やがては自分に戻ってくる。「悪因悪果」、「善因善果」という言葉がある。

○「三輪清浄」の布施、これは布施をするときの心構えである。「三輪」とは、布施をする人、布施を受ける人、布施するモノを指す。この3つに執着があったら、布施の意味がなくなる。日頃から、見返りを求めず、自分の喜びとして施しを行うことを心がけてみてはどうか。

○「人の通りに人は変わってく」ものであるとの思いで生きていきたい。

### 7. 感想

住職の生い立ちから仏門での修行を経て生まれた言葉には、説得力があった。笑いあり、涙ありの90分間のお話でした。住職の今のにこやかな笑顔からは想像することができない過去があり、そのことを乗り越えるために仏門に進むことができたのは、周りの人の暖かい言葉と思いやりのある行動であったように思います。今日の卒業式・修了式にふさわしい講話でした。生きることの意味を深く考えることができました。

